

# 目黒区に共生型施設開設

## 設計工夫し落ち着きを演出

東京都内を中心に8カ所のデイサービスと2カ所の放課後等デイサービスを展開するCLOVER（東京都新宿区）は、今年1月1日に「デイサービスクロバー学芸大学」（定員10名）と放課後等デイサービス「クロバーキッズ学芸大学」（定員10名）を東京都目黒区に開設した。

区内では初となる子どもと高齢者の共生型施設だという。今回の開設で、デイサービスを8事業所目、放課後等デイサービスが2事業所目となる。建物の1階がデイサービス、



1階デイサービスの様子

2階が放課後等デイサービス。「多世代の交流によって、子どもの自尊心を育み、高齢者は子どもを見守りながら役割を得られるような形で、両者のケアをしていくことを目指している」（管理本部長塚沙歩氏）

「多世代参加・体験型デイサービス」がコンセプト。子ども大人も心地よく過ごせるよう、空間の設計を工夫した。デイサービスはカフェ風にデザイン。床やテーブル、食器類など、木目調に統一し、落ち着きのある空間を演出している。

そのほか、利用者の能力を引き出せるよう、役割を持てるように工夫。部屋の中心には給水カウンターを設置。自由に飲み物を注ぐことができるようにした。また、食器棚をシンクの外側に設置することにより、利用者が昼食の準備などに参加しやすいようにしている。

今後、地域住民にも施設を開放していく予定だ。

### 元厚労事務次官 二川氏が登壇

日介連

「第23回福祉懇話会」が開催される。「社会保障について」をテーマに、元厚労省事務次官の二川一男氏が講演する。日時は2019年2月18日の16時～17時30分（開場15時30分）。（会場15時30分）。

1年間に100万人ががんになる時代を迎え、毎年生まれる子どもより多い。現在のがん患者は310万人。国立がん研究センターがこの5年間のがん患者から推計している。

や麻薬の扱い方に医療者が不慣れなことも大きな要因だろう。

医療用麻薬とは、モルヒネ、オキシコドン、フェンタニルのこと。いずれも強い麻薬で、WHO（世界保健機構）による緩和ケアマニュアルでは、鎮痛薬処方「三段階除痛ラダー」で最終の第3

PCUとは、ホスピスと緩和ケア病棟（Palliative Care Unit）で、痛みを取る専門病院である。専門性が高いはずなのに、特別養護老人ホームや有料老人ホームなどの施設入居者よりも痛みを感じた患者が多い。

同センターは「自宅や高齢者施設にいてはどうしても痛みが取れない重度者が病院やホスピス、緩和ケア病棟に来る。患者の状態が異なるのではないか」とその理由を弁明する。確かに専門性への高い期待があることも作用しているかもしれない。それでも納得がいかない。

患者が終末期にどのような気持ちだったかを問う答えも、ホスピス・緩和ケア病棟への評価は低い。「人として大切にされていた」には、自宅の91

## 点検 介護保険

段階で使うとされる。死亡場所別の分析もしており、驚くべき実態が明らかになる。「痛みが少なく過ごせた」という質問に、病院入居者が45%

患者が終末期にどのような気持ちだったかを問う答えも、ホスピス・緩和ケア病棟への評価は低い。「人として大切にされていた」には、自宅の91

患者が終末期にどのような気持ちだったかを問う答えも、ホスピス・緩和ケア病棟への評価は低い。「人として大切にされていた」には、自宅の91

患者が終末期にどのような気持ちだったかを問う答えも、ホスピス・緩和ケア病棟への評価は低い。「人として大切にされていた」には、自宅の91

患者が終末期にどのような気持ちだったかを問う答えも、ホスピス・緩和ケア病棟への評価は低い。「人として大切にされていた」には、自宅の91

患者が終末期にどのような気持ちだったかを問う答えも、ホスピス・緩和ケア病棟への評価は低い。「人として大切にされていた」には、自宅の91

# がんの痛み除去、QOLの評価 高齢者施設より低いホスピス

第103回

|              | 病院   | PCU  | 施設   | 自宅   |
|--------------|------|------|------|------|
| 痛みが少なく過ごせた   | 45.2 | 54.9 | 61.1 | 52.4 |
| 人として大切にされていた | 72.2 | 80.5 | 79.6 | 91.5 |
| 穏やかな場所であった   | 34.7 | 51.2 | 58.4 | 62.3 |
| N            | 392  | 85   | 411  | 682  |

▲アンケート結果

よりも劣り、介護施設とほぼ同様の80%となった。死を間近にすれば医療対象の「患者」としてだけでなく、普通の「人」として対応して欲しいはず。PCUにはその配慮が足りないようだ。

「穏やかな場所でも、PCU入居者は51%と半数しか肯定していない。自宅に11ポイントも差を付けられたのは致し方ないが、58%の介護施設をも下回った。

こうした結果から、病院やPCUでの緩和ケアへの基本的な理解不足が



ジャーナリスト 元日本経済新聞編集委員 浅川 澄一

1971年、慶應義塾大学経済学部卒業後、日本経済新聞社に入社。流通企業、サービス産業、ファッションビ

ビジネスなどを担当。1987年11月に「日経トレンド」を創刊、初代編集長。1998年から編集委員。主な著書に「あなたが始めるケア付き住宅―新制度を活用したニュー介護ビジネス（雲母書房）、「これこそ欲しい介護サービス」（日本経済新聞社）などがある。

# 食事の提供結構大変ですよ！

## マルコシグループならこれを解決します。

献立は、当社グループ 栄養士・調理師等専門スタッフが、高齢者施設、医療機関向けに献立を作成しております。現地調理の場合は、献立を施設様向けに対応することも、可能です。

献立を考えるのが大変  
同じものの繰り返し……  
利用者様から苦情ありませんか。

調理する人＝ヘルパーさん  
余分な仕事……  
時給も……  
人件費合理化できます。

調理師さんで味が変わる。  
退職後、補充するのが大変  
求人費も高い  
いい人が見つからない。

食事の後 食器を洗うのも大変  
水道代・光熱費 結構高いですよ。

### 1) お弁当の場合

そのまま、利用者の方に配膳してください。  
味噌汁は、温めて配膳してください。  
ご飯は、できれば、お茶碗を使用してください。（当社の容器使用可）  
できれば、メインは、温めて配膳すれば、利用者様から喜ばれます。（施設設備必要）  
刻み及び禁食対応します。

### 2) 調理品供給の場合 (クックチル・クックサーブ)

ホテルパンもしくは、袋詰めで納品します。温めて（スチームコンベクション等で）配膳。  
3食分まとめてお届けすることも可能です。クックチル・サーブの場合は、当社スタッフによる配膳をお勧めします。

### 3) 現地調理の場合

現地にて、専門スタッフが、調理します。  
バリエーションに富んだ献立を作成します。

詳しくは、担当営業にご連絡下さい

株式会社マルコシ TEL.03-3914-2101  
足立区新田2-10-6 担当：金澤 http://www.marukosi.jp

株式会社日本医療食研究所 TEL.048-666-1955 FAX.048-666-1879  
さいたま市北区東大成町2-250-3 KBLビル3F 担当：岡崎 http://www.iryoushoku.jp